

あかちゃんからおじいさん、おばあさんまで！
みんなで楽しもう！

東日本・家族応援プロジェクト+(プラス) 2025 in 白河

入場
無料

2025 年 8 月 29 日 (金)
白河市立図書館「りぶらん」会議室
10:00~12:30 (受付9:45より)



今年で最終となります。
ぜひお越しください

うたと遊びと漫画トーク

◇プロジェクト代表、講師の
詳細につきましては裏面を
ご覧ください。

とき：10:00

ご挨拶

プロジェクト代表 村本 邦子 (立命館大学教授)



とき：10:05~10:45 わらべうたと伝承遊び

講師：鵜野 祐介 (立命館大学教授)
小磯 厚子 (おひさまひろば副代表)

わらべうたや伝承遊びの世界をみんなで味わい
ましょう。どうぞお楽しみに！



とき：11:00~12:30

団士郎の漫画トーク

講師：団 士郎 (立命館大学客員教授)

漫画「木陰の物語」に描かれたお話や、これま
での経験を通して出会った家族のことなどなど
著者本人が直接お話します。たくさんの皆さま
のご参加をお待ちしています！



ただいま
漫画『木陰の物語』
展示巡回中

白河市表郷公民館

7/07 (月) ~7/14 (月)

棚倉町立図書館

7/15 (火) ~7/29 (火)

白河市東文化センター

8/01 (金) ~8/09 (土)

白河市立図書館

8/13 (水) ~8/30 (土)

共催：立命館大学大学院人間科学研究科・NPO法人しらかわ市民活動支援会

詳しくは NPO法人しらかわ市民活動支援会 おひさまひろば ☎0248-27-2090

東日本・家族応援プロジェクト+(プラス) 2025 in 白河

2025 年 8 月 29 日 金

◇プログラム詳細につきましては裏面をご覧ください。

10:00~12:30 (受付9:45より)

白河市立図書館 「りぶらん」 会議室

東日本・家族応援プロジェクト⇒



プロジェクト代表 村本 邦子 (立命館大学大学院人間科学研究科教授)

◇プロジェクト代表からのコメント

2011年の東日本大震災を受け、「被災と復興の証人になる」という目標を掲げ、十年のプロジェクトを立ち上げました。11年間、毎年、東北4県を訪れ、以後は福島を中心に継続してきました。2011年から2021年までは福島市で、2022年からは白河市でプログラムを開催しています。年が経つのは早いものです。あの時、生まれた子どもたちはもう中学生ですね。発起人である私も来年、定年を迎えるため、プログラムは今年度が最後となりました。東北、福島、そして白河の歴史や文化、そして人々に触れる機会を得たことを宝のように感じています。地球上のあらゆる生き物が平和に生きられる日が来ることを祈って……。

2025年 夏

講師の紹介

講師：鶴野 祐介 (立命館大学文学部教授)



◇講師からのコメント

このプロジェクトを通して小磯厚子さんや鳴島あや子さんと出会い、一緒に市民の皆様と民話やわらべうたや伝承遊びで楽しむ機会を持つことができました。さらにこの地には、長年調べている「安珍清姫」伝説の安珍の墓があり、毎年念仏踊が行われていることが分りました。不思議な縁を感じています。

京都大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。専門は教育人類学。日本、韓国・中国、英国スコットランドを主なフィールドとして、子ども期の伝承文化(遊び・子守唄・わらべうた・民間説話など)や児童文学・児童文化が子どもの人格形成に及ぼす影響について研究。アジア民間説話学会日本支部代表。子守唄・わらべうた学会代表。「うたとかたりのネットワーク」を主宰し、うたやかたりの実践・普及活動を進める。

【主な著書】

『昔話の人間学 いのちとたましいの伝え方』(ナカニシヤ出版、2015)、『子どもの替え唄と戦争 笠木透のラスト・メッセージ』(子どもの文化研究所、2020)、『センス・オブ・ワンダーといのちのレッスン』(港の人、2020)、『世界子守唄紀行 子守唄の原像をたずねて』(藤原書店、2023)、『うたとかたりの人間学 いのちのバトン』(青土社、2023)など



講師：小磯 厚子

(NPO法人しらかわ市民活動支援会 おひさまひろば副代表/おもちゃコンサルタントマスター)

◇講師からのコメント

東日本大震災後、様々な方々からのご支援、励ましをいただいてまいりました。その中でこのプロジェクトに出会い参加することで、自分のできることを見つけ、一緒に活動し元気になることが出来ました。ずっと忘れず被災地を応援し続け、被災地の声をていねい聞き心に刻んでくださった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

おひさまひろばスタッフ。国内外のおもちゃに精通し、優良なおもちゃ・遊びをバランスよく与えることのできる「遊びの栄養士」といわれるおもちゃコンサルタントマスター。福島県内でグッド・トイを使って良質なおもちゃの普及や活用方法について教える「おもちゃの広場」を開催

講師：団 士郎 (立命館大学客員教授/家族心理臨床家/漫画家)



◇講師からのコメント

発災から15年間被災地に寄せていただき、時間の流れの中で震災の記憶が変化してきたことを実感しています。これからも、子育ての悩み、親世代の介護問題、夫婦間の課題、家族には色々なことが起こります。何も起こらない家族は、世の中に一組もありません。何か起こっても「なんとか乗り越えることができる」力を身に付けてもらえたらと願っています。漫画「木陰の物語」が心のどこかに響き、困ったときの味方になりますように、そして明日への元気な一歩につながれば、私はとてもうれしく思っています。

公立の児童相談機関心理職25年を経て独立。漫画家でもあり、マンガ集団「ぼむ」同人、WEB雑誌「対人援助マガジン」編集長。近年は上海、蘇州、ニューヨーク、ハワイでも漫画展を開催。全国で継続的に家族療法のワークショップを開催するほか、講演会も数多く開いている。

【主な著書】

『家族の練習問題』1～9 (ホンブロック)、『不登校の解法』、『家族力×相談力』(ともに文春新書)など多数。2021年8月に、中国版「木陰の物語」が上海の出版社から刊行。『わが子が小学校に上がる前に読みたい木陰の物語』(ホンブロック、2021)、『家族理解の教科書graphics』(ホンブロック、2025)など。 shirosan.com (shirosan.com)



◇プログラムサポート◇

立命館大学大学院人間科学研究科院生メンバー

